

研究主題 通常の学級の一斉授業において、支援を要する児童に対する指導方法の工夫 ～若手教員が知識・技能として身に付けるべき教育技術についての研究～

I 団体の概要

東京都小学校教育技術・指導法研究会は令和5年4月1日に発足した研究会である。東京都の小学校における教師に求められる資質能力である「教育の技術及び指導方法」に関する事項の向上を目指し、研究の交流と振興を図ることを目的とする。

II 研究の目的

令和4年度に文部科学省が実施した「通常の学級に在籍する障害のある児童生徒への支援の在り方に関する調査」によると、学習面または行動面で著しい困難を示すとされた児童生徒数の割合が、小中学校においては推定値8.8%であることが明らかとなった。

また、これらの児童生徒のうち、校内委員会において特別な教育的支援が必要と判断されている割合は、小中学校で推定値28.7%であった。

この結果を受けて、文部科学省が「通常の学級に在籍する障害のある児童生徒への支援の在り方に関する検討会議報告（令和5年3月13日）」を出した。

その中で、特別支援教育に関する校内支援体制の充実として、全ての教師が、障害のある児童生徒を含め多様な児童生徒が通常の学級に在籍していることを前提として、**全ての児童生徒に対し、高い学習成果が得られるようわかりやすい授業づくり**を進め、通常の学級において**安全・安心に学ぶことができるよう、多様性を尊重した学級経営**が求められるとしている。この実現のために、定期的に研修会を開催し、学び続けていける場を提供していく。

III 研究の方法

(1) 学級全体に対する分かりやすい授業の工夫

通常の学級において、学級全体に対して分かりやすい授業の工夫を行うことが重要である。小学校学習指導要領(平成29年告示)解説(総則編)第4節 児童の発達の支援に示されている「困難さ」に対する「指導上の工夫と意図」と「手立て」を参考に、通常の学級における授業づくりの工夫改善に努めていかなければならない。

そのうえで、ICTを含む合理的配慮の提供、特別支援教育支援員の配置などにより十分に学べるかどうかを検討することが大切である。

つまり、通常の学級に在籍する障害のある児童生徒への支援の基本は「学級全体に対する分かりやすい授業」となる。

(2) 教育の方法及び技術に関する事項の実現

(1)を踏まえ、今年度の研究主題を実現するために通常の学級の中でできる方策を以下の方法で検討し、研究を推進していく。

- ① 研究授業
- ② 研修会
- ③ 地区に分かれた学習会

この研究を通して、「令和の日本型学校教育」を担う教師に求められる資質・能力である、教育の方法及び技術に関する事項(カリキュラム・マネジメントによる教育活動の充実、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善、情報手段や教材・教具、情報機器の活用を含む)の実現を目指していく。

IV 研究の内容

(1) どの学年、どの教科でも使える教育技術・指導方法

5月22日、立川市立第七小学校体育館にて、玉川大学教職大学院教授谷和樹先生から、全教師がどの学年でもどの教科でも使える教育技術・指導方法について指導していただいた。

研究授業を参観する際、漫然と見ていては、学びは少ない。「授業を見る視点」が必要となる。例えば、授業における児童の発言に対する授業者の対応・応答である。授業では、授業者が予想していない児童の反応が往々にしてある。突発的な行動や、発問・指示に対して反応がないといった予想外な行動に対して、どう対応していくのかということである。これができないと、一斉授業の中で、授業全体をコントロールすることが難しくなる。研究授業において、参観者が授業者のそうした対応・応答に着目することで多くの学びを得ることができる。



(2) 発達に課題のある児童が安定する授業の実現

6月21日の第1回研究授業を皮切りに3本の研究授業を実施した（令和7年2月に最終を予定）。研究授業は、発達に課題のある児童が落ち着いて授業を受けられるよう、谷和樹教授が提唱する「教師のベーシック7+3」を意識して行われた。

その一つに「表情（笑顔）」がある。8月20日に行われた第2回研修会では、NPO法人翔和学園学園長伊藤寛晃先生から「一つ一つ連帯の橋をかけながら、良い笑顔で授業をしていく」ことをご指導いただいた。教師の表情一つで児童は大きく変わる。「教師のベーシック7+3」は質の高い授業を目指す上で重要な視点である。



V 年間計画

- (1) 5月22日(水)
 - 会員総会 ○講演「特別支援教育における教育技術の重要性」
講師：玉川大学教職大学院教授 谷和樹先生
- (2) 6月21日(金)
 - 研究授業1
授業者：指導教諭 千葉雄二先生
講師：教材開発士 村野聡先生
- (3) 8月20日(火)
 - 講演「特別支援教育における教育技術の重要性」
講師：NPO法人 翔和学園 学園長 伊藤寛晃先生
(株)RIDGE SPECIAL EDUCATION WORKS代表 小嶋悠紀先生
初任者教師を応援するスタートアッププロジェクトリーダー 山崎克洋先生
- (4) 11月29日(金)
 - 研究授業2
授業者：教諭 小倉達也先生
講師：SEL音楽研究会 代表 関根朋子先生
- (5) 12月8日(日)
 - 日本教育技術学会 東京大会
- (6) 1月15日(水)
 - 講演「全国学力調査の分析の仕方」
講師：NPO教授法創造研究所代表 椿原正和先生
- (7) 2月6日(木)
 - 研究授業3
授業者：主任教諭 三浦宏和先生
講師：玉川大学大学院教育学研究科(教職専攻)名誉教授 佐藤久美子先生
- (8) 3月8日(土)
 - 研修会「教育技術・指導力向上研修会」

<令和6年度連絡先>

団体名		東京都小学校教育技術・指導方法研究会	
代表者	所属	立川市立第七小学校	
	職氏名	校長 島村 雄次郎	
	連絡先	042-523-5348	
事務局	所属	練馬区立立野小学校	
	職氏名	副校長 木村 順子	
	連絡先	03-3930-9101	
団体ホームページ	URL	https://www.toshogiken.com/	
	二次元コード		